

◎文字の大きさ、線の太さ、墨のつけ具合がすれなど、紙面全体とのバランスを考えます

高校 (C)

俳句

赤とんぼ筑波に雲もなかりけり

あかとんぼ

つくばにくももなかりけり

大平恵理書

A

◎A B、天地の空間は同じぐらいに

筑

波に

雲も

なかり

けり

赤

とんぼ

ぼ

◎③④、特に文字の連続では

息を切らさないように

B

筑波は茨城県の筑波山のことだと言われている。雲ひとつない秋の空と赤とんぼの対比があざやか。(正岡子規)

日本書字文化協会

墨をこけて書き出した

「赤」となりのあたりには、

新たに墨をこけた文字がないように

←①⑤で示した一行目の文字と文字の切れ目の空間の同じ高さには、二行目の文字の切れ目が

こないように